

信篤複合施設整備基本計画(案)についての
パブリックコメント実施結果

市川市 管財部 公共施設マネジメント課

○実施期間

令和7年2月3日(月)～令和7年3月4日(火) 30日間

○ご意見を提出していただいた方の人数及び件数

①インターネット	4人	10件
②ファクシミリ	1人	5件
③公共施設マネジメント課へ提出(持参)	2人	9件
④市政情報コーナー(中央図書館等)	0人	0件
⑤郵送	0人	0件

○ご意見への対応

- ①ご意見を踏まえ、修正するもの
- ②今後の参考とするもの
- ③ご意見の趣旨や内容について、考え方を既に案へ盛り込み済みであるもの
- ④その他(本計画そのものに対するご意見でないもの等)

○ご意見の概要と市の考え方

No	ご意見の概要	市の考え方	ご意見への対応
1	高齢者サポートセンターは、生活に支障がある高齢者や認知症がある方など、救済をする場所であります。しかし、現在老人ホームホワイト市川内に事務所があり、相談に行くには遠く、タクシーを利用する方が多くいるのが現状です。 行政や民生委員、子供にも相談せず、生活に支障がある高齢者の方々を助けるために、高齢者サポ	高齢者サポートセンターについては、現在の場所ではなかなか相談に行きにくいとの声をいただいているほか、信篤公民館内にある地域ケアシステムと併設することで、利用者の利便性向上のほか両者の機能的な連携も期待されることから、新施設には高齢者サポートセンターの事務所を地域ケアシステムと併設することとします。	①

	ートセンター事務所開設を強くお願いいたします。		
2	こどもから高齢者が、共有する空間をお願いいたします。	複合化により新設するフリースペースを中心として、こどもからお年寄りまで「だれでも」「いつでも」「こちよい」『まちのリビング』となるような施設を目指してまいります。	③
3	吹奏楽部等、地域の方々に発表を行う場所をお願いいたします。	複合化により新設するフリースペースでは多世代の交流を促す場として、市民作品展や講座学習発表など、さまざまな催し物を実施できるスペースとしても機能するよう整備いたします。	②
4	行政の出張所も他の公共施設と一緒に壊すのか。 プレハブでの開設。	信篤市民連絡所を含め、既存の建物は新施設の建設工事着手に合わせて解体する予定です。 工事期間中の市民窓口機能については、今後所管課と協議してまいります。	②
5	3月末にて、京成バスが運行廃止のため、八幡までの交通手段が高齢者には難しい。	いただいたご意見は、担当部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。	④
6	複合施設を作るのはいいが、利用するときに、夜利用するときに、終了時間追い出されるように出ていくのが本当に不快です。 職員の勤務時間が施設の終了時間と同じなのではないか？余裕をもって勤務時間を設定してあげないと、職員と利用者の両方が不快な思いをします。	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。	②

7	生涯学習機能の部分が減に設定されているが、今の公民館でも部屋数が不足しているので検討してほしい。	生涯学習機能の全体の規模は、749.77㎡から615㎡に減少しておりますが、うち貸室面積での比較では574.11㎡から565㎡と、ほぼ同程度の規模となっております。	①
8	新しくなることとても楽しみにしています。 公民館機能について、床面積の減少が気になります。部屋数も少なく和室もないようです。再考お願いします。	新施設では、利用者の人数に合わせてフレキシブルに利用できるよう、間仕切りのある部屋を多く設けることとします。	
9	市民窓口業務があまり役に立って無いので、業務を増やして。	いただいたご意見については、担当部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。	②
10	体育館の横に有るプールについては存続又は廃止？	現在の利用状況および近年の猛暑の影響を踏まえ、信篤複合施設にミニプールを整備する予定はありませんが、敷地内において、子どもが水に親しめる空間の創出を検討してまいります。	②
11	ミニプールがありました、なくなるのでしょうか？夏には、水遊びが出来る様に設備を整えてほしいです。		
12	フリースペースの使用許容範囲	フリースペースの具体的な利用方法等については、今後、検討してまいります。	②
13	駐車場は今まで通りの他の公民館と同じく20台はせめて確保	新施設の駐車スペースについては、既存施設の20台分を基に、設置条件を整理してまいります。	②
14	毎週サークル活動で公民館を使用しています。説明会でも意見がありましたが、公民館機能部分で和室を1室でよいので設けていただきたい。茶道や着付けのサークルは和室で活動したいです。置き畳とおっしゃっていましたが、畳は重いので毎回数十枚を主に女性が出し入れするのは大変です。 また、土足厳禁の和室があれば乳幼児サークルも安心して使用で	和室の設置については多くのご意見をいただきました。 現在の諸室の利用状況も勘案し、さまざまな用途で利用できる畳敷きの部屋を整備する方向で検討を進めてまいります。	①

	きます。国際交流の意味でも日本独自の文化である和室を公共施設こそ備えるべきと思います。（メンテナンスが大変なのであれば本畳でなくてもよいです）		
15	工事期間中にサークル活動を継続できるよう、代替施設等のご配慮をいただければと思います。 コロナ渦で公民館が使用できなかった期間、廃部になったサークルが複数あります。 工事期間中に子供たちは進学で生活環境が変わり、高齢者は衰えていきます。活動できていればメンバーの新陳代謝が図られ存続可能ですが、まったく活動できないと再開してもメンバーが集まらないでそのまま廃部になるサークルが複数出てきます。	工事期間（休館期間）がなるべく短くなるように努めるとともに、休館期間中の代替施設については、必要に応じて各所管課と協議してまいります。	②
16	公共施設の建替えが築60年を目安とのことですが、今回の建替えから60年後、もしくは大きな災害で建替えの必要が出た時に迅速に対応ができるよう、民間事業者の管理部分と公共施設部分を分けた方がよいと思います。 賃貸住宅や店舗が公共部分と一体化していた場合、例え契約をきちんとされていたとしても、立ち退きや権利関係でなかなか進展しない可能性があります。	民間施設と公共施設は管理運営上のエリアを峻別し、市が公共部分の維持管理を円滑に行えるよう、民間事業者と協力して最適な仕組みを整えてまいります。	②
17	原木中山駅周辺は開発も遅れており、憩いの場になるようなお店ありません。説明会に参加したところ、憩いの場になるようなスペースは良くあるお年寄りのたまり	カフェの設置は人々の憩いの場となる要素の1つとして、他市の事例でも設置されるケースが多くみられます。 いただいたご意見は、事業者提案	②

	場になるようなイメージしか持てませんでした。 また、こども館に中高生が来るような想定でしたが、そもそもこども館という名の付くところに今時の中高生が来るとは到底思えません。 つきましては、憩いの広場に広いスペースの有料カフェ（スターバックス、タリーズ等）を設置していただきたく、お願いいたします。必ずしも無料スペースが良いという訳では無いようにも思われます。使用者側も多少お金を費やしても居心地のいい環境を望んでいるのではないかと考えます。 これからの原木中山駅周辺の発展のためにも、ご検討のほど、よろしくお願いいたします。	を審査する際の参考とさせていただきます。	
18	建築計画としてコンセプトを実現するために ・「まちのリビング」というコンセプトを施設全体として具現化するには、市区分所有スペースと民区分所有スペースの連携を生み出す第3の空間として、『共創空間』（例：半屋外広場等）のようなスペースの計画が必要になるかと思えます。『共創空間』を中心に、地域住民も気軽に利用でき、他施設との相互交流が生まれ、多世代交流及び世代間交流が促進される施設となり「まちのリビング」という複合施設になるかと思えます。	公民の施設同士や屋内外が連続するイメージは、施設全体としての雰囲気創出に寄与するものと考えられることから、事業者選定や設計時の着眼点の1つとして参考とさせていただきます。	②
19	市区分所有スペース：市民が気軽に立ち寄り、くつろげる居心地の	施設コンセプトである「まちのリビング」にふさわしいインテリア	②

	良い共有空間（エントランス空間、フリースペース等）で交流が促進するために ・ 建築的なしかけ（吹抜け、光の取り入れ方、風の抜け、色彩、インテリアの素材感、外部空間との連続性等）、適切な室のゾーニング、動線計画及びSDGsを考慮した建築計画、構造計画、設備計画はもちろん、最終的に人が接する魅力的なファニチャーの計画が重要なポイントとなります。家具の予算計画及び適切な面積の確保が最終的に居心地の良いインテリア、そして施設の使い勝手の良し悪しを決めると言ってもよいかと思ひます。インテリアが重要であるという点は居住空間である住宅と似ているかと思ひます。	を目指して検討を進めてまいります。	
20	防災拠点としての構造・設備計画とするために ・ 2025 年 1 月 15 日、政府の地震調査委員会より公表があり、南海トラフで今後 30 年以内にマグニチュード 8 ～ 9 の巨大地震が発生する確率が 80 % に引き上げられました。それを踏まえ、民区分所有部分も含め、大地震の自然災害が発生した際に建築物の機能が維持できる構造とするための目標の候補として下記のガイドライン※も検討のテーブルに載せて貰えればと思ひます。 ※「防災拠点等となる建築物に係る機能継続ガイドライン／平成 30 年 5 月（R 元年 6 月一部改訂）国	施設全体の防災機能については、防災部門の部署とともに、法令やガイドライン等に沿う形で、事業者選定の際の要求水準などに反映させ、地域の安心安全につなげてまいります。	②

	土交通省住宅局」 ・災害時一時避難スペースとして活用できる、市区分所有の市民体育館以外のスペース（例：新設広場、屋上、半屋外広場、バルコニー等）と想定人数及びマンホールトイレ、かまどベンチ等の設備機能の有無 ・民区分所有部分の一時避難スペースと想定人数及び設備機能の有無 ・ハザードマップを考慮した建物レベルの計画		
2 1	完成した施設が孤立化しないために ・地域の活性化を考慮した駅前空間との連続性及び新たな公共交通網の計画	いただいたご意見については、担当部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。	②
2 2	駅前と言う立地を生かした貸しホールのような場所もあるといいと思います。商業目的には高く、市民団体には安く貸し出しが出来るようなホワイエがしっかりあるホールがあればいいと思います。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	②
2 3	館庭は今現在、中高生がサッカーに楽しく集まってできているように感じます。これは、新しくなっても維持して行ってほしいと思います。なんとなく小学生、中学生が存在を意識しながらいい譲り合いができていたように思います。	外構については、今後詳細を検討してまいります。 いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	②
2 4	この地域には公園が少なくプレーパークの機能を持つような場所があるといいなと思います。子どもが思い切り遊べる場所を作ってほしいです。こども館もいいです	外構については、今後詳細を検討してまいります。 いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	②

	が、こどもの居場所になるような場所があるといいと思います。遊具を配置するのではなく、何も無いけど、何でも話せる。一緒に考えてくれる人がいる場所があったら最高だと思います。遊具設置するより経費がかかりそうですが、子どもたちにとって一番欲しい場所だと思います。	
--	---	--